

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

40号
2021
2.12

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



第9回 シャドーボックス作品&クラフト展

- 期間：2月12日(金)～2月21日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：「植物」をテーマにシャドーボックスなど約40点を展示

「第16回 早春の草花展」

～春を感じる風の中で～

2月13日(土)～3月14日(日) 10:00～16:00

大芝生地 特設会場にて・・・

～寒さの残るこの季節・・・

一足早く「春の景色」をお届けします！～

東洋蘭講演相談会

- 日時：2月14日(日) 13:30～16:00 (受付13:00～)
- 場所：植物園会館2階研修室 ○定員：先着30名
- 内容：寒蘭、春蘭など東洋蘭全般の栽培を中心とした講習会

京都新世代いけばな展2021

- 期間：2月20日(土)～2月23日(火・祝)
- 場所：くすのき並木
- 内容：「#ハナノコキュウ 明日へのエナジー」をテーマに30流派の若手華道家54名の44作品を展示

バラ剪定講習会

- 2月21日(日) 13:30～15:00 (受付13:00～)
- 「四季咲きバラの剪定について」植物園会館2階研修室
- ※講師：日本ばら会京都部会会員
- ※ばら園で実技があります。※定員：先着30名

「水曜ミニガイド」 植物園認定が 仆がご案内！

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「園長と園内散歩」

2月28日(日) 何処を歩くかはお楽しみ！

植物園会館前集合：午後2時スタート！

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定！

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成！「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察！

早春の園芸市

- 期間：2月26日(金)～2月28日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：ユキワリソウ、サボテン類など話題の植物を集めた園芸市

第29回 春蘭展

- 期間：3月12日(金)～3月14日(日)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：シュラン約100点及び席飾り5席を展示(販売あり)

◆3/14(日)春蘭展関連 講習会

植物園会館2階研修室 13:30～15:00

(当日会場受付 13:00～)

「春蘭の育て方」 講師：東洋蘭洛風会会員

早春の山野草展

- 期間：3月19日(金)～3月22日(月)
- 場所：植物園会館1階展示室
- 内容：早春に咲く山野草約250点を展示

◆3/21(日)山野草展関連 講習会

植物園会館前集合 13:30～15:00

(当日受付 13:00～)

「演題未定」 講師：樹木係職員

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説！

毎週土曜日は・・・

植物園会館前集合：午後1時スタート！



「植物園ガイド」が植物案内！

～見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増！～

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時～正午、午後1時～午後4時

■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです！

大人1000円 高校生750円

・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。

※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP！



今週の「探して！」
2021. 2. 12
40号

⑫ ジャマイカポインセチア

トウダイグサ科。ジャマイカ、キューバ等のカリブ海沿岸原産。小花は6個程度の黄色くて丸い密腺と緑色の子房から構成されている。小花の根元の赤い花弁のような部分は苞葉で花粉媒介者を効率的に呼び寄せる役割を果たしている。

⑪ セツブンソウ

キンポウゲ科。関東地方以西の本州に分布。節分のころに花が咲くのでこの名が付いた。白い花弁に見える部分はがく片。淡紫色のやくと黄色の蜜腺が目立つ。春にのみ地上に現れるスプリング・エフェメラル(春植物、春の妖精)の一つ。

⑩ センナリバナ

バンショウ科。ジャワ島やマレー半島で栽培。和名は果実が1,000個もなるということに由来。果実は食用には適さず、自生地でも家畜の飼料用にわずかながら栽培されているだけで、主として観賞用に植物園などで栽培展示されている。

⑨ ビオラ

スミレ科。ヨーロッパに自生する野生種から育種され、かつては大輪のものをパンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していた。しかし、現在は複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別しにくくなっている。

① シナマンサク

マンサク科。中国が原産。日本に自生するマンサクは、春にいち早く開花し、「先ず咲く」花木としてその名が付いたといわれている。シナマンサクはマンサクよりもさらにひと月近く早い厳冬期に、同じ仲間の中で最も大きな花を付ける。

② ニホンズイセン

ヒガンバナ科。地中海沿岸地域原産。名前にニホンとついているため日本固有の植物と思われがちだが、古くにペルシャから中国にもたらされ、それが日本に渡ってきたとされている。北陸地方の海岸沿いの一部では群生している。

③ クレマチス・ウロフィラ

キンポウゲ科。中国原産。冬に花をつける常緑のクレマチスで寒い季節にも花を咲かせてくれる。香りはほとんどない。ベル形のクリーム系白色の花を下向きに咲かせる。花弁はシルクのような質感がある。耐寒性が強い。

④ 聖護院ダイコン

アブラナ科。約180年前に、聖護院の農家が尾張の代表的な品種である細長い形の「宮重大根」をもとに播種を繰り返して丸形のものを選抜した。非常に品質が良かったため周辺地域に広まり、「聖護院大根」と呼ばれるようになった。

⑤ ジャノメリカ

ツツジ科。南アフリカ原産。釣り鐘のような形をした小さな桃色の花を咲かせ、その中心部から飛び出た黒いやくがよく目立つ。その外観が「蛇の目」の模様に見えることが和名の由来。細かい枝をたくさん分枝させる特性がある。

⑥ タチバナ

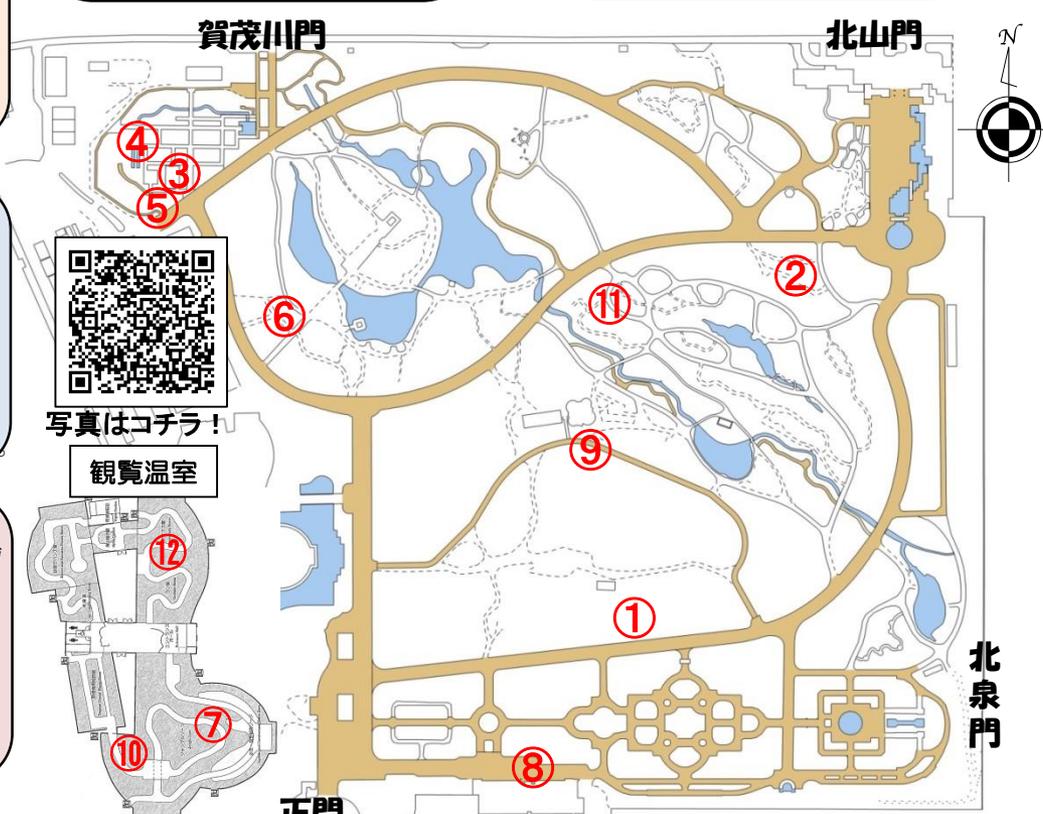
ミカン科。本州(伊豆半島以西)～琉球、台湾原産。別名ニッポンタチバナ。日本特産種であり、古来から知られた柑橘。実は酸っぱく薬用とされた。日本書紀など神話では不老長寿の木の実とされている。京都御所の右近の橘は本種。

⑧ ハボタン「紅くじゃく」

アブラナ科。原種はヤセイカンランで、ヨーロッパ西南部の海岸地帯に分布し古くより薬草として用いられ、後にキャベツやブロッコリー、ケールなどの食用に改良された。「紅くじゃく」は、旧ソ連のケールを元に改良された品種。

⑦ オオベニゴウカン

マメ科。ブラジル南部、ボリビア原産。実際は小さな花が多数集まったもので、直径5cmほどの球形となる。多数突き出た緋紅色の糸状のものは雄しべで、化粧に使うパフによく似ていることから、英名はレッド・パウダー・パフと呼ばれる。



写真はコチラ!

観覧温室